



日東エフシー株式会社

証券コード：4033

株主・投資家のみなさまへ

第65期 中間期 ビジネスレポート

平成27年10月1日から平成28年3月31日まで



平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社第65期第2四半期（平成27年10月1日から平成28年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における連結売上高は84億15百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は5億75百万円（前年同期比47.7%減）、経常利益は5億28百万円（前年同期比61.6%減）となりました。特別利益として匿名組合清算益を4億26百万円計上いたしましたので、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

（肥料事業）

売上高は前年同期並み水準で推移しましたが、原材料市況の変動等による棚卸資産の期末評価の影響で売上原価が増加、顧客との取り決め相違による補償の発生も大きな負担となりました。この結果、売上高58億53百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益3億3百万円（前年同期比63.9%減）と減収減益となりました。

（商社事業）

受注の拡大に努めましたが、下期以降へのズレ込み等の影響で減収となり、経費削減等による収益性の確保に努めましたが補いきれませんでした。この結果、売上高16億58百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益1億20百万円（前年同期比8.4%減）と減収減益となりました。

（不動産賃貸事業）

既存の賃貸物件ごとの稼働状況の改善を図り収益性の向上に努めましたが、前年9月に賃貸物件を売却した影響を吸収できませんでした。この結果、売上高6億89百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益3億62百万円（前年同期比3.6%減）と減収減益となりました。

（その他事業）

ホテル・運送・倉庫の各事業ともに稼働率の改善と経費削減による収益性の向上に努めました。この結果、その他事業全体では、売上高3億59百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益83百万円（前年同期比20.8%増）と増収増益となりました。

株主の皆様には、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

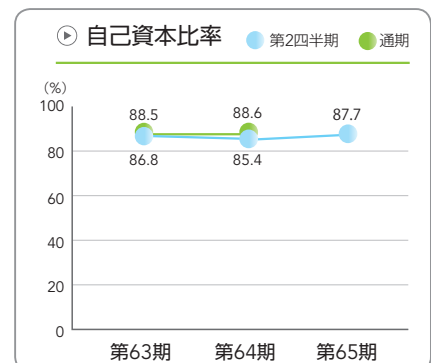
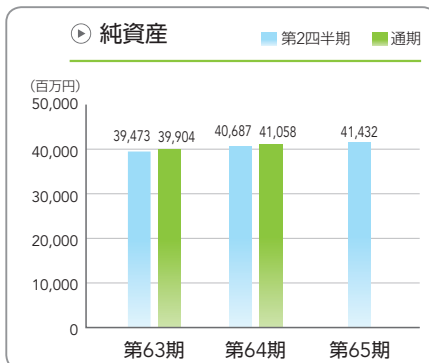
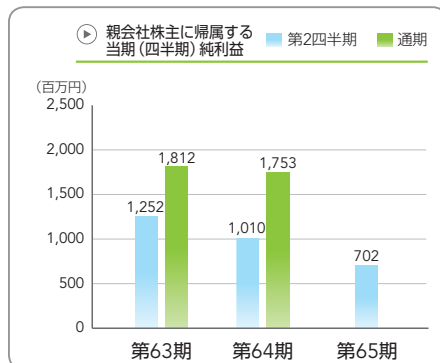
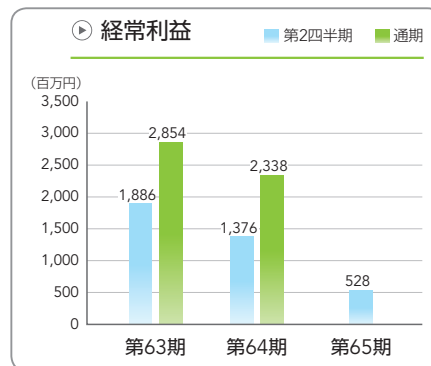
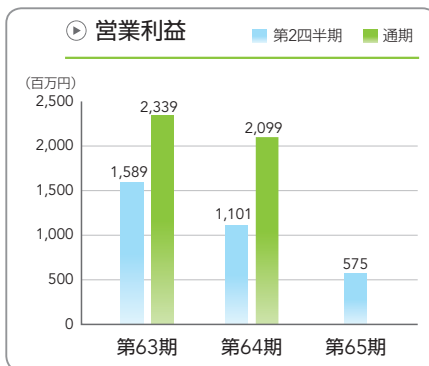
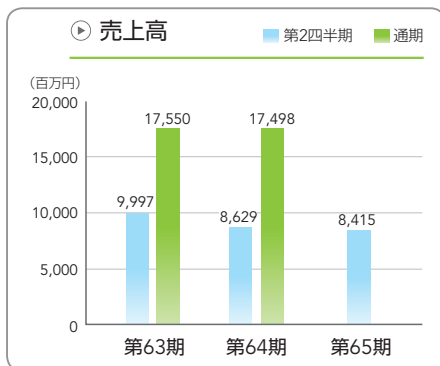
代表取締役社長 渡 邊 要



第65期 (2016年度)

第2四半期連結経営成績

▶ 売上高	8,415 百万円	(前年同期比 2.5%減)
▶ 経常利益	528 百万円	(前年同期比 61.6%減)
▶ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	702 百万円	(前年同期比 30.5%減)



肥料事業

お客様のニーズに応え多様な製品づくりを行っています。

製造部門

気候風土が多様で、かつ限られた面積で栽培するわが国の農業では、地域・作物ごとに異なる肥料が必要です。そのため多品種小ロット生産及び時期による需要変動に対応すべく、原料供給から製品包装・積付に至るまで一貫したプラントを、肥料の大消費地に隣接した名古屋・千葉・室蘭の3工場に構築し、長年蓄積したノウハウで合理的かつ無駄のない生産に努めております。



研究開発部門

農作物の品質向上、収量増加、生産コストの低減、施肥に関わる農作業の省力化を図るために有効な技術の研究に力を入れております。近年では育苗作業と田植えを省略できる水稻直播栽培に対応した一発施肥型肥料や、環境に配慮した樹脂被殻が残らない一発施肥型化成肥料、特別栽培農作物用の一発施肥型有機化成肥料、省力型肥料としての一発ペースト肥料をラインナップに加えております。(一発施肥型とは、元肥だけで追肥を施肥しない作型です。)

販売部門



当社グループでは、創業当時の「直販ルート」、全農・経済連・農協への「系統ルート」、大手商社等への「商系ルート」の3つの販売ルートをバランスよく使うことで安定的な販売実績を維持しております。また、「技術普及部」を設置し、土壌分析調査やユーザーへの栽培技術指導などにより営業活動をバックアップし、製品の販売にとどまらない総合的なサポートに取り組んでおります。



商社事業

輸出元との強固な関係で
資源の安定供給に貢献します。

資源の乏しいわが国では、多くの原材料を輸入に頼らざるを得ません。グループ会社である明京商事株式会社は、国内顧客のニーズに合わせて工業用原料及び肥料を中心に輸入販売する専門商社です。特に工業用塩化カリウムは、輸出量で世界最大規模を誇るカナダのカンポテックス社より輸入販売代理権を得ており、わが国で塩化カリウムを直接輸入できる数少ない商社としての強みを発揮しております。また肥料についても、ヤラ・インターナショナル社（ノルウェー）や、エボニック社（ドイツ）など、世界有数規模のメーカーより特色ある商品を供給しております。

不動産賃貸事業

私どもの有する資産は
皆様の毎日の暮らしに
役立っています。

当社の不動産賃貸事業は、工場移転等による資産の有効活用を出発点として、収益物件の取得や高採算物件への買換えにより事業を進め、商業ビル、オフィスビルやショッピングセンターの他、大型物流倉庫や事業用賃貸用地を所有しております。今後も先を見据えた安定収益の確保に努めてまいります。



商業ビル
(ロイヤルパークホテル ザ 名古屋他)

太陽光発電事業

当社の苫小牧工場敷地内の遊休地部分を活用した太陽光発電事業を予定通り平成27年1月より開始しております。保有する不動産の有効活用に加えて、再生可能エネルギーの普及促進に努め、社会への貢献を果たしていきたいと考えております。

ご参考 設置面積 26,000㎡、発電能力1,234kwh、年間発電量140万kwh



太陽光発電設備

四半期連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

※ 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期期末 平成28年3月31日現在	前第2四半期期末 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	25,953	25,290
現金及び預金	8,531	9,191
受取手形及び売掛金	5,453	5,588
有価証券	5,699	3,198
たな卸資産	5,764	6,756
その他	506	556
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	21,304	22,371
有形固定資産	17,917	17,901
土地	12,866	12,544
その他	5,051	5,356
無形固定資産	535	554
投資その他の資産	2,850	3,914
投資有価証券	2,150	3,197
その他	701	719
貸倒引当金	△1	△2
資産合計	47,258	47,661

科目	当第2四半期期末 平成28年3月31日現在	前第2四半期期末 平成27年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	4,378	5,265
支払手形及び買掛金	2,061	3,107
短期借入金	70	546
未払法人税等	305	387
賞与引当金	206	212
その他	1,735	1,010
固定負債	1,446	1,709
役員退職慰労引当金	244	242
退職給付に係る負債	21	20
その他	1,180	1,446
負債合計	5,825	6,974
(純資産の部)		
株主資本	40,945	40,053
資本金	7,410	7,410
資本剰余金	9,100	9,100
利益剰余金	26,562	25,670
自己株式	△2,127	△2,127
その他の包括利益累計額	487	633
その他有価証券評価差額金	485	643
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整累計額	1	△10
純資産合計	41,432	40,687
負債及び純資産合計	47,258	47,661

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。



四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計		前第2四半期累計	
	自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日	自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日
売上高	8,415	8,629		
売上原価	6,558	6,539		
売上総利益	1,856	2,089		
販売費及び一般管理費	1,280	988		
営業利益	575	1,101		
営業外収益	146	338		
受取利息	5	8		
受取配当金	16	18		
持分法による投資利益	62	60		
為替差益	—	179		
その他	62	70		
営業外費用	194	62		
支払利息	0	0		
為替差損	79	—		
デリバティブ評価損	104	52		
その他	10	9		
経常利益	528	1,376		
特別利益	485	90		
投資有価証券売却益	58	90		
匿名組合清算益	426	—		
税金等調整前四半期純利益	1,013	1,467		
法人税、住民税及び事業税	429	451		
法人税等調整額	△119	4		
四半期純利益	702	1,010		
親会社株主に帰属する四半期純利益	702	1,010		

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計		前第2四半期累計	
	自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日	自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日	自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△710	△1,445		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109	1,052		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245	295		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	28		
現金及び現金同等物の増減額	△1,092	△68		
現金及び現金同等物の期首残高	9,623	9,260		
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,531	9,191		

四半期単体財務諸表 Financial Statements

四半期貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期期末 平成28年3月31日現在	前第2四半期期末 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	22,339	20,741
固定資産	20,031	21,103
有形固定資産	16,853	16,839
無形固定資産	531	550
投資その他の資産	2,646	3,713
資産合計	42,370	41,845
(負債の部)		
流動負債	3,906	3,853
固定負債	1,383	1,638
負債合計	5,289	5,492
(純資産の部)		
株主資本	36,633	35,778
資本金	7,410	7,410
資本剰余金	9,100	9,100
利益剰余金	22,249	21,395
自己株式	△2,127	△2,127
評価・換算差額等	447	573
その他有価証券評価差額金	447	573
純資産合計	37,080	36,352
負債及び純資産合計	42,370	41,845

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 自平成27年10月1日 至平成28年3月31日	前第2四半期累計 自平成26年10月1日 至平成27年3月31日
売上高	6,396	6,413
売上原価	5,152	4,978
売上総利益	1,243	1,435
販売費及び一般管理費	936	639
営業利益	307	795
営業外収益	484	604
営業外費用	187	54
経常利益	605	1,345
特別利益	485	90
税引前四半期純利益	1,090	1,435
法人税、住民税及び事業税	364	363
法人税等調整額	△125	△5
四半期純利益	851	1,077



会社概況 (平成28年3月31日現在)

商号 日東エフシー株式会社

設立 昭和27年1月18日

資本金 7,410,675,000円

事業内容 肥料の製造販売、不動産の賃貸借、
ビジネスホテルの経営

従業員数 235名



役員

代表取締役社長	渡邊	要
常務取締役	水谷	勇
常務取締役	後藤	浩
取締役	武田	聡
取締役	倉知	保政
取締役	川邊	宣文
取締役	渡邊	浩史
取締役	後藤	正幸
取締役	佐藤	秀夫
取締役	森川	利政
取締役	伊藤	彰夫

(注) 佐藤秀夫氏、森川利政氏及び伊藤彰夫氏は、監査等委員であります。また、佐藤秀夫氏及び伊藤彰夫氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

子会社

協同肥料株式会社
 北海道肥料株式会社
 中菱肥料株式会社
 中日本肥料株式会社
 丸菱肥料株式会社
 新東化学工業株式会社
 明京商事株式会社
 日東運輸倉庫株式会社
 名京倉庫株式会社

株 式 情 報 Stock Information

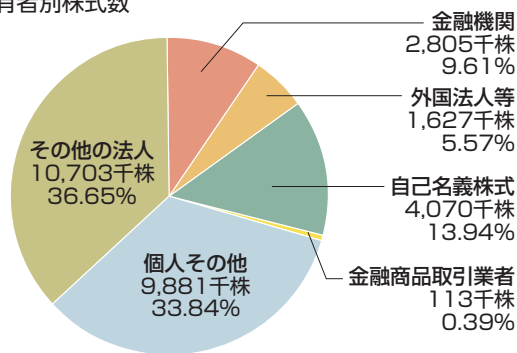
(平成28年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	29,201,735株
単元株式数	100株
株 主 数	3,761名

株式分布状況

▶所有者別株式数

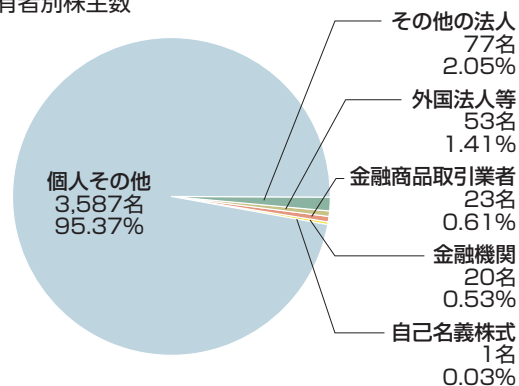


大株主

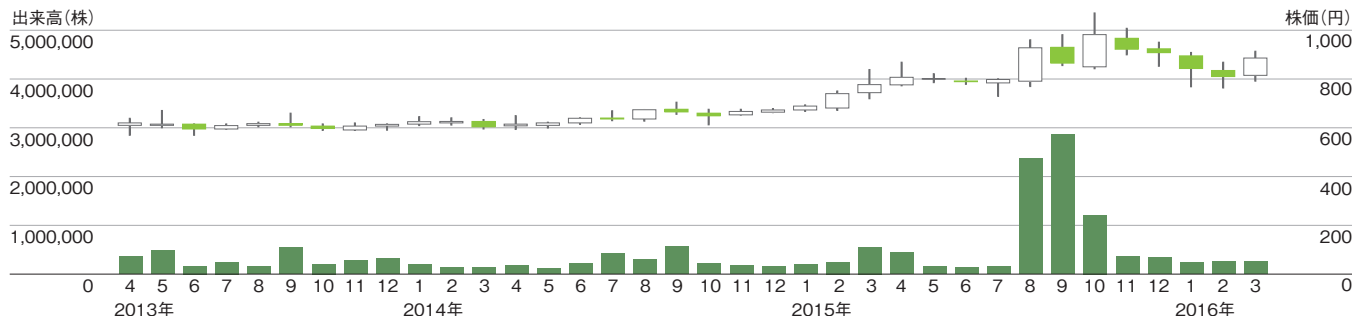
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ワタカネルーツ株式会社	3,300	11.30
渡辺商事株式会社	2,016	6.90
株式会社A. 1	1,790	6.13
東邦総合サービス株式会社	1,210	4.14
日本生命保険相互会社	970	3.32
渡邊 要	849	2.90
渡邊 浩史	705	2.41
三井物産株式会社	556	1.90
三井住友海上火災保険株式会社	533	1.82
渡邊 孝司	521	1.78

上記のほか、自己名義株式4,070千株 (13.94%) があります。

▶所有者別株主数



株価及び出来高の推移



➤ 株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
 定時株主総会 毎年12月
 基準日 定時株主総会については9月30日といたします。
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

配当金受領株主確定日 〈期末配当金〉 9月30日
 〈中間配当金〉 3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 兼 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

(同連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 (〒137-8081)
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話(通話料無料) 0120-232-711

公告掲載方法 電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.nittofc.co.jp/>

お手続きおよび
お問い合わせは

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

➤ ホームページもご覧ください。



<http://www.nittofc.co.jp/>

株券電子化後における当社株式に関する手続についてのご案内を掲載しております。

➤ 株主優待制度

毎年9月30日(決算期)現在で、500株以上999株まで所有の株主様に「QUOカード1,000円分」、1,000株以上所有の株主様に「魚沼産コシヒカリ新米5kg」を年1回贈呈いたします。



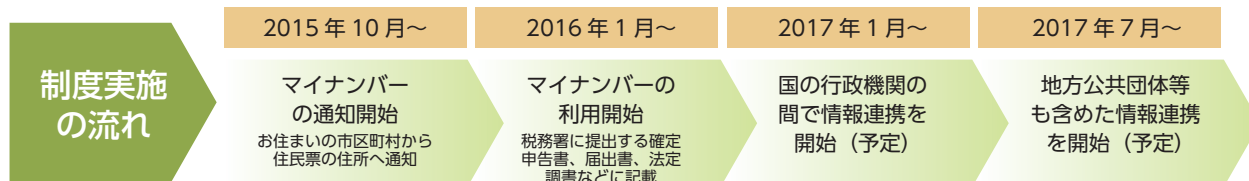
優待品は株主様がお届けの住所にお送りしますので、住所変更された株主様は忘れずに住所変更の手続を株主様がお取引の証券会社、または上記株主名簿管理人までお願いいたします。

株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

お住まいの市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバー制度(*)とは、国民一人ひとりにマイナンバーを配布し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

(*) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)



マイナンバーの 保護措置・利用範囲・ご提供について

- マイナンバーの取扱いには、法律により厳格な保護措置が設けられています。
- マイナンバーの利用範囲は、社会保障・税・災害対策に関する事務に限定されています。
- マイナンバーは、社会保障や税に関する業務に限定して、ご提供をお願いすることができます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

配当金に関する支払調書
単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。

- 証券会社とのお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711

日東エフシー株式会社

本社 名古屋市港区いろは町1丁目23番地 〒455-8544
TEL. 052-661-4381(代) FAX. 052-652-0348
ホームページアドレス <http://www.nittofco.co.jp/>

